

発行所

NPO法人榎本地域活動協議会

理事長 木村武史 広報委員会

大阪市鶴見区今津中 1-9-32 電話/FAX 06-6963-0104

Mail cuifj400@occn.zaq.ne.jp



「岩手県陸前高田市支援 ボランティアバス」要綱

2013年7月25日(木)~7月28日(日 **くスケジュール>**

7月25日(木) 集合

<パス車中泊>

7月26日 (金) 『長者原SA』で朝食 陸前高田市位所到着 市長表飲訪問 市民環境課 現地バス乗り投入(荷物積み替え) 市役所周辺で駐策 土産物、見学 パス移動 カボー川の原模田 パス移動 陸前高田ボランティアセンター 大等このの・春楽選集と様型※の潜さんとの空 11:00

お茶っこの会 音楽演奏と被災者の皆さんとの交流

バス移動 宿舎(玉乃湯)着 入浴・夕食 ※旅館玉乃湯 (固定電話は通じますが、携帯は au のみ通話可能)

7月27日(土)

10:00

7月28日(日) 6:30 8:00 『多賀SA』で朝食 鶴見商業高校・榎本福祉会館 着

陸前高田市役所· 戸羽市長を



米崎中学 体育館での 合同コンサー



寄せ書きを持参



陸前高田市を訪問してきました

2013年7月25~28日



*鶴見商業高校 軽音楽部の皆さんへ

陸前高田市への交流事業に参加していただいて本当にありがとうございました。 この事業の主役は、あなたたちです。陸前高田の人たちに大阪の思いをまさに 『届け!』ることができたと思います。大人たちが幾ら上手く話し、お金や物資を持っ て行っても、音楽を通して被災された方々の心を揺さぶる感動を届けることはか なわない。今回のことを心に刻んでもらえたらこんなに嬉しいことはありません。 同行した大人もみんな心から感動していました。本当にありがとう!

じられない惨さがありました。し かし、私たちの演奏を届けること ができて本当によかったです。

佐藤絵梨香*岩手の方と音 楽で繋がることができまし た!とてもいい経験をする事 ができました!

岡田七菜米私たちの演奏を 聞き、一緒に歌って下さり、 笑顔になって下さっていたの がすごく嬉しかったです。

三橋可奈米現地の方たちが 私たちの演奏を聞いて泣いて くださっていて、私たちまで泣 きそうになってしまいました。

橋崎美音*大阪では想像が つかないような状態をみて衝 撃を受けました。陸前高田の 方たちの笑顔を見ると心が 暖まりました。



上山恵美*現地に行かないと感 西村輝*僕にとって一生忘れら 池松佳代*まだまだ復興が行 れないものとなりました。また陸前 き届いていないのに驚きました

> を感動させられる人になろうと 本気で思いました!

今回岩手県に行かせていただき 私たちにとって一生忘れる事の できない思い出となりました。

街の復興はまだ完全では <u>ありませんでしたが</u>

少しでも私たちの演奏で

陸前高田の方たちに 大阪の元気を伝える事が

出来たと思います! また機会があれば

演奏をしにいきたいです。

河本あまね*少しでも多くの 方に元気を届けられたと思 います。岩手県で演奏した四 日間は一生忘れる事ができ ないとおもいます。

星友梨奈*岩手県に行かせ ていただき、とても良い経験 をさせていただきました。皆 さんに思いを伝えられてすご く嬉しかったです。

高田の方に会いにいきたいです。 が、陸前高田の人はとても明る 長崎愛米私は今回の経験で、人 くて演奏のときは感動してくだ さり、とても嬉しかったです。

> の方などに当時のお話を伺 うことができました。このこ とを僕らが大阪から伝えて いきたいと思います。

小方一期米現地の語り部

一橋みのり*本当に貴重な 経験をさせていただきまし た。また機会があれば他の 被災地などにも演奏をしに いきたいと思いました。

萱田春菜*被災された方と 交流をし、震災後の街の変化 や、思い出したくない事を涙な がらに話していただきすごく 貴重な経験ができました。

木川春佳米私たちの演奏を 聞いて、感動して涙を流して くれる方、笑顔になってくれ る方がたくさんいてとても嬉 しかったです。

釜野雛*陸前高田の方たち は私よりも元気でした。演奏 後は「よかったよ」と声をかけ ていただきました。

【陸前高田市支援ボランティア交流団】

7月26日27日に鶴商軽音楽部員16名顧問 2名、榎本地域スタッフ等9名の合計27名で、岩 手県陸前高田市へ行き、地域からお預かりした義 援金(145万円)と橋下大阪市長から託された戸 羽市長への親書をお渡しするために市役所を表 敬訪問し、仮設住宅に暮らす被災者の方々を中心 に現地での交流、そして、鶴見商業高校軽音楽部 の音楽をプレゼントしてきました。

◎どうして陸前高田へ?

榎本地活協は、東日本大震災後、陸前高田への 支援のため、各種行事で義援金の呼びかけ、応援 Tシャツの販売などを続けてきました。

これは、日頃から防災への関心が高く、鶴見区内 でも飛び抜けて義援金が集まった地域の声を受 け、地域団体として青パト1号車の軽トラックを被 災地に送ろうとしたところ、陸前高田市に応じて いただき、木村理事長・菱谷副理事長がハンドル を握り支援物資を満載してお届けし、悲惨な状況 を体験して「顔の見える支援を続けよう」と提起さ れたことが始まりです。

◎今回の企画は?

時間の経過と共に遠く離れた被災地の記憶が薄 れる中で、顔の見える支援を続けること、現地での 様子を若い人たちに体験してもらい、大阪の元気 をお届けすることに意義があると今回の企画を立 て、交流団のバス代をはじめとする資金を義援金 とは別に地域の事業所を中心にお願いしたとこ ろ、多大な協力を得ることが出来ました。

◎交流の様子は?

戸羽市長は、折からの天候不順で多忙な中、私 たち全員を招き入れ、貴重なお時間を割いてくだ さいました。そして、市民同士のお付き合いは大き な励ましになるとのお礼と共に、高校生に震災後 の経過や、ご自身の体験を交え、失ってみて気づく 事、当たり前すぎて気付かない家族の大切さをあ らためて見つめ直してほしい、今回の体験を大切 にしてくださいと丁寧にお話しくださいました。

午後は、社協会館での「お茶っこの会」で演奏、被 災者から体験をお聞きして交流しました。

夜間は激しい雨が降り、陸前高田市各所で避難 勧告が出されるなどし、復旧途上で大きな災害に ならなければ良いと心配しました。

27 日の午前中は、現地バスで語り部に同乗して いただき、市内を案内、説明してもらい、保育園に 子ども用Tシャツを寄贈した後、米崎中学体育館 で仮設住宅合唱団との合同コンサートを行いまし た。高校生の工夫をこらした選曲もあり、体育館 全体に感動が広がり「花は咲く」を会場全員で合 唱しました。そして、陸前高田音頭をみんなで踊っ て締めくくりました。

片道 14 時間のバス旅行という強行スケジュー ルでしたが、高校生の演奏に涙する方々とふれあ い、参加した高校生の真剣な眼差しと榎本の声を 「届ける」ことが出来ました。

ブログ〜活動日記〜始めました

榎本の日々、お知らせしています。マイペースに、時 にわがままな目線で(笑) よろしくお願いします。 http://enomoto22.tumblr.com/

【EGAO ENOMOTO】(広報) http://enomototaroi.tumblr.com/ 【榎本子ども会】

http://hagukumi-enomoto.tumblr.com/ 【はぐくみ・えのもと】

今後も、順次スタートいたします。乞うご期待!



今年で3回目になる水難救助訓練を行いました。当日は防災リー ダを中心に約50名の参加と見学があり、急な豪雨などによる河川 の増水のための水難事故に備え着衣泳体験を鶴見消防署の指導に

より学びました。服を着たままだと立って歩くだけでも体力が削られます。溺れ た時は、体温の低下を防ぐため服は脱がないで!!そして口と鼻を水面から出す ことだけ意識して静かに浮くことが大切だそうです。身近にある、ペットボトルで も立派に浮きになりました。あってはいけない、いざという時のため、色々な学 びがありました。猛暑の中、皆さん、お疲れさまでした。

(日) 9:30am 大地震発生! M8 震度6

その時あなたは?!

榎本まちなか防災訓練

各町会集合場所から避難所へ 主催*榎本地域活動協議会 後援*鶴見区役所·消防署·警察署